

# 県労連 あおもり

2018年9月5日 第336号

発行所 青森県労働組合総連合(青森県労連)  
〒030-0852 青森市大野若宮 165-19 Tel 017-762-6234  
発行人 青森県労働組合総連合(毎月5日発行) 定価 10円  
1992年10月30日 第三種郵便物認可  
本紙の購読料は組合費に含まれています。



全員で団結ガンバロウ三唱

## 安倍内閣退陣! 3000万署名で 改憲を阻止しよう!

青森県労連は8月25日、青森市で第30回定期大会を開催、代議員・役員・傍聴者など69名が参加しました。

奥村議長は、24回定期大会から掲げた「21世紀初頭市民と野党共闘の重要性を強調しました。全労連の渡辺事務局次長と日本共産党県委員会の中委員長が来賓として挨拶、国民民主党県総支部連合会と社民党県連合からメッセージが寄せられました。



新役員のあいさつ

### 参加者の発言

あげ、今こそ2大悪を取り除き、アベ政権退陣のため市民と野党共闘の重要性を強調しました。全労連の渡辺事務局次長と日本共産党県委員会の中委員長が来賓として挨拶、国民民主党県総支部連合会と社民党県連合からメッセージが寄せられました。

#### 山本代議員(中弘南黒)

労働法制改悪反対の街宣での市民の好意的反応、過労死促進法の廃止でまともな働き方を。

#### 伊藤代議員(県国公)

六ヶ所村の国の独立行政法人の労働者の組織化、労働法制改悪反対連絡会の楽しくなる街宣の工夫。

#### 小倉代議員(県国公)

今年の人事院勧告は生活改善にほど遠い。職場の非正規労働者の無権利、低賃金の苛酷な実態。内閣人事局設置の弊害。

#### 宮永幹事(弘大職組)

8月11日の池内了講演会が90名の参加で成功、市民と科学者の運動の推進。

#### 中屋敷代議員(三)

自治体への要望書提出、八戸市の長崎原爆展、館鼻岸壁の朝市での3000万・ヒバクシャの署名、コープ店前での連続署名行動。

#### 渡部代議員(県教組)

県内の教育長との懇談、教員の不補充での「教育に穴があく」深刻な問題、教職員の多忙化解消「タイムカード」や学校閉庁日の導入、保護者負担で成り立っている義務教育の実態。

#### 西崎代議員(ひだまり)

津軽保健生協の理事を退任、ひだまりに加入。労働相談に関わりながら医療・介護などで働く非正規労働者の組織化に努力。

#### 菅野代議員(建交労)

中高年雇用福祉事業団は清掃業務を中心としているが、65歳定年、70歳まで再任用。全国的には定年制をなくする方向。ピースエッグに参加する高校生へのカンパのご協力を。

#### 大塚代議員(通信労組)

JMIUと統合、JMITU通信産業本部となった。OB組合員の立場から共済関係に携わる。

#### 川村代議員(福保労)

弘前のたんぽぽ保育園の相馬さんが不当解雇。解雇無効・撤回、損害賠償を求める訴訟を展開。支援カンパの訴え。

#### 中妻代議員(弘大職組)

雇止めを阻止するための学習会を開催、15名が参加、弘大職組と県労連が団体交渉を実施、57名が雇止め。弘大附属病院の看護師を対象にアンケート実施、200名余が回答。財政危機を口実に基礎的研究費の削減。

#### 逢坂代議員(高教組)

障害者雇用率の水増しは本県でも実施。県教委の雇用率は全国最低。県内の聾学校では全員を対象に障害の有無をハガキで回答。

#### 酒田代議員(上十三)

学校の長時間労働は蔓延、学校のブラック化。教員採用試験の倍率が6年間で半分以上に。初任研宿泊研修の宿泊の強制は違法。

#### 内山代議員(医労連)

看護師の技術料が異常に低いのは、政府の医療費抑制政策によるもの。運動を強化し組織拡大につなげたい。

#### 山本代議員(医労連)

医療や介護の労働者の賃金は都市と地方の格差拡大は止まらない。労働者の流出を防止するために全国一律最賃制度と産別最賃制度の確立は急務。また長時間労働や夜勤改善も。

#### 高橋代議員(ひだまり)

方針書を印刷した冊子は読みにくい。読みやすいように工夫を。

発言する西崎さん



あいさつする渡辺全労連事務局次長

8月11日の池内了講演会が90名の参加で成功、市民と科学者の運動の推進。

雇止めを阻止するための学習会を開催、15名が参加、弘大職組と県労連が団体交渉を実施、57名が雇止め。弘大附属病院の看護師を対象にアンケート実施、200名余が回答。財政危機を口実に基礎的研究費の削減。

### 18年度役員です ~よろしくお願ひします~

副議長	奥村 榮(幹事会・再)
議長	今 正則(幹事会・再)
同	石田英仁(県国公・再)
同	田村儀則(高教組・再)
同	柳谷政志(東青労連・再)
同	榎山康博(幹事会・再)
同	工藤昭隆(医労連・再)
同	宮永崇史(弘大職組・再)
同	鎌田貞孝(ひだまりユニオン・再)
同	工藤正秋(コープあおもり労組・再)
同	和田 力(県教組・再)
同	相馬貴之(中弘南黒地区労連・再)
同	佐藤 武(下北地区労連・再)
同	高橋保文(自治労連・再)
同	千代谷邦弘(年金者組合・再)
同	有馬弘樹(県国公・再)
同	水島康雄(西北五地区労連・再)
同	中屋敷泰一(三八地労連・新)
同	阿部 聡(上十三地労連・新)
同	田中清治(幹事会・再)
同	井筒信之(医労連・再)
同	菅原 淳(県国公・再)
特別幹事	
会計監査	

8月8日「辺野古に新基地を造らせない」という私の決意は県民とともにあり、これからもみじんも揺らぐことはない」と語った信念の人、翁長沖縄県知事が亡くなった。自民党県連幹事長、那覇市長を4期つとめた保守の翁長氏、なぜその決意は「県民とともにあり」「みじんも揺らぐことはない」のか?敗戦が明らかかな1945年4月、「国体維持」のため戦争を続行、地上戦により県民の四人に一人18万8千人の犠牲者。アメリカ占領軍による「銃剣とブルドーザー」での基地建設。1950年朝鮮戦争で日本を「反共の砦」とするために1951年「サンフランシスコ平和条約」による独立と沖縄の切り捨て、条約が発効した4月28日は「屈辱の日」として沖縄県民の心に刻まれている。1995年米兵3名による女子小学生拉致集団強姦事件、怒りの県民8万5千人総決起集会への譲歩として1996年「普天間基地」全面返還の合意。2012年10万人が結集した県民大会、直後のオスプレイ強制配備。2013年オスプレイ配備撤回と普天間基地閉鎖県内移設断念の「建白書」無視。自民党を離党し2014年「オール沖縄」候補として知事選に挑戦し当選した翁長氏、沖縄県民の心とともにあり続けた見事な人生であった。(奥)

# 青森県の最賃七六二円に 10月4日から適用

7月25日の中央最低賃金審議会の目安を受けて、各都道府県の最低賃金審議会が答申を出していました。

青森県最低賃金審議会は、目安を1円上回る時給762円とする答申を青森労働局長に提出しました。



7/12 青森駅前の262分の座り込み

全国の答申の特徴は、東北6県すべてが目安を1円上ったように、Dランクで16県、Cランクで6県、Bランクで1県、計23県が目安を1円〜2円上ったこと。時給700円台の19県すべてが目安を上った背景には、A〜Dのランク付

けによって都市部と地方の地域間格差が拡大していくことに対する地方の「NO!」の意思表示だと思われま

ていますが、この金額で人間らしい生活をするのは困難です。韓国は来年1月から約11%引き上げ835円とし、2020年には時給千円にするとしています。

最高額の東京都985円で月150時間労働で月収14万7千円、年収177万円、青森県762円では年収137万円にしかなりません。安倍首相は3年連続で3%引き上げたと宣伝し

に土砂を投入するという緊迫した情勢のもと、辺野古新基地建設を阻止するためまた一貫して辺野古新基地建設反対の運動の先頭に立ちついで故翁長知事の意思を引き継ぎ、建設断念に追い込むまで運動を継続するという意思統一の場にもなりました。

## 辺野古新基地建設反対 沖縄県民集会

8月11日、「土砂投入を許さない! ジュゴン・サンゴを守り、辺野古新基地建設断念を求めろ8・11沖縄県民大会」が那覇市で開催され、青森県など全国各地から7万人が参加しました。

集会は、①ジュゴン・サンゴ・ウミガメなどの生息環境を破壊する土砂投入計画撤回②超軟弱地盤の辺野古新基地建設計画の白紙撤回③児童生徒の安全確保のため新基地建設断念④普天間基地即時閉鎖・撤去⑤オスプレイの飛行全面禁止、

## パワハラ・不払い残業ダメ! 就労支援事業所で労組結成

8月17日、青森福祉支援プラザ労働組合(略称・A F P労組)の結成大会が開催されました。今年5月に「労働組合を作りたい」との電話相談があり、労働組合結成に向けた打ち合わせを行ってきました。

障害者就労支援事業(A型、B型)を行う職場で、職員や利用者無視の施設運営、パワハラの横行、サービスマン残業の強要などが繰り返されてきました。自らの労働条件の改善はもとより、利用者本位の施設運営



9名が結集した組合結成

を求め、職場アンケートで寄せられた要求は、山ほど集まりました。結成大会には、9名中8名の組合員が参加し、活動方針案、規約案、要求書案、役員体制案を

確認しました。結成大会に駆けつけた県労連奥村議長、東青労連吉崎副議長、医労連工藤書記長が連帯のあいさつを行い、労働組合の結成を祝福しました。

生命・医療・火災・自動車・・・

**全労連共済**

労働組合の助け合い共済。  
民間保険と違い、営利目的ではない。  
だから、「小さな掛金」で「大きな保障」が実現。  
問い合わせは県労連に ☎ 017-762-6234



の決議を採択しました。同日、市民連合あおもりの有志は青森市柳町交差点で沖繩に連帯して44名の参加でスタンディングを実施、市民にアピールしました。

〈ろうきん〉のカードなら  
ATMお引き出し手数料  
全額即時キャッシュバック!

実質 **0円**

東北労働金庫青森県本部 青森市本町3丁目3-11 ☎017(777)6165

「平穏死について」  
知っておくべきこと」というテーマでセミナーがあり参加しました。講師は原病の小野正人氏です。高齢のため自力で食事が摂れなくなった時、その後の判断を他人任せではなく、前もって考えて周囲に明確に伝えておくことが大事だと。ピンコロリで逝きたいものです。(長内幸子・建交労働者)

4月1日人事異動直後から新しく来た人が病気で休職して回復見込みなしなのに、その分の人員配置をしてくれなく困っています。

今年青森ねぶたに参加しました。涼しくて跳ねるのは良かったのですが寒すぎました。(高橋由美子・ひだまり)

最賃引き上げ・改憲NO!などめぐるおしです。(佐藤悟・五所川原市職労)

水都八戸育ちのため、寒さにはめっぽう強いものの、暑さにはからきし弱いのです。でもエアコンはできるだけ使わず、冷やし中華と冷たいビールで夏を乗り切ります。(中道博章・年金者組合)

金者組合のため、寒さにはめっぽう強いものの、暑さにはからきし弱いのです。でもエアコンはできるだけ使わず、冷やし中華と冷たいビールで夏を乗り切ります。(中道博章・年金者組合)

第334回 まちがいがし

ハガキかFAXかメールで回答。氏名、住所、組合名を書いてください。余白に職場の様子や最近の出来事などを、およせください。正解者の中から第332回の答えと当選者

ら抽選で図書券をプレゼントします。

●締切 10月15日  
●発表 11月号  
●宛先 030-0852 青森市大野字若宮165-19。FAX、メールは欄外に表記。「第334回まちがいがし」係りまで。

《答え》①男性のソフトクリーム②女性のサンダース③立っている女性の襟④立っている女性の足⑤座っている女性の足⑥男性の海水パンツ⑦カニのはさみ

《当選者》21通の応募でした。当選者は次の方々です。木村洋子(県教組)、下山智裕(弘大職組)、小田桐智恵子(全労働)、佐藤悟(五所川原市職労)、鎌田文子(年金者組合)